（様式：小学校用）

令和４年度　学校図書館基本計画・評価シート

足立区立西保木間小学校　　校長　佐分利　規雄

１　学校教育目標

○よく考える子：様々な問題を解決するために、多様な考えをもてる子
○思いやりのある子：よりよい生活を目指して相手を尊重し、助け合う子
○たくましい子：困難に直面してもあきらめず、より高い目標に向かい努力し続ける心と体をもつ子

２　学校図書館の目標・ねらい　ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

①児童の読書に対する意欲を高め、豊かな心情を幅広い知識を身に付けさせる。
②多様な資料から目的に応じた情報を選んで、課題解決する能力を伸ばす。
③様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
④学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

３　学校図書館の現状（令和３年度末）

蔵書状況

①　蔵書数　　8,316 冊（蔵書基準冊数　8,132 冊）／ 蔵書率　163.7%（元年度末 143.5%）
②　新規購入図書　205 冊　／ 廃棄図書　　47 冊　／増減冊数　158 冊

分類	総記 0 類	哲学 1 類	歴史 2 類	社会 3 類	自然 4 類	技術 5 類	産業 6 類	芸術 7 類	言語 8 類	文学 9 類
蔵書構成割合	1.3%	0.7%	7.1%	7.1%	11.8%	5.3%	3.2%	7%	6.5%	50%
＊国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%

利活用の状況

①　開館時間：授業時、火曜日と金曜日の中昼休み、夏休み中（3 日間程度）
②　児童一人あたりの年間平均貸出冊数　37.7 冊（前々年度：33.9 冊）
③　１か月に２冊以上読む児童　　57.3%（前々年度末：64.1%）

（令和４年度末）

蔵書状況

①　蔵書数　8,323 冊（蔵書基準冊数　　5,080 冊）／ 蔵書率 163.8%
②　新規購入図書　308 冊(購入 237、寄贈 74)　／　廃棄図書　341 冊　／増減冊数 -34 冊

分類	総記 0 類	哲学 1 類	歴史 2 類	社会 3 類	自然 4 類	技術 5 類	産業 6 類	芸術 7 類	言語 8 類	文学 9 類
蔵書構成割合	1%	1%	7%	7%	12%	5%	3%	7%	6%	51%
＊国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%

利活用の状況

①　開館時間：授業時、火曜日と金曜日の中休み、昼休み（前年度からの変更　なし）
②　児童一人あたりの年間平均貸出冊数　42.9 冊（前々年度：39.4 冊）
③　１か月に２冊以上読む児童　　62.8%　（前年度末：57.3%）

４　目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第１学年

①学校図書館の利用の仕方とマナーを知り、きまりを守って利用する態度を育てる。
②興味・関心のある類を知り、楽しんで読書したり絵や写真を見たりする。

今年度の成果目標	達成基準
①学校図書館を使う授業により、本を手に取る機会が増える。 ②学校図書館の本を利用し、読書する経験を重ねる。 ③学校図書館の利用の仕方、マナーについて知る。	①月２回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ②読書月間やパワーアップタイムを利用し、年間一人４０冊以上の本を読む。 ③学校図書館オリエンテーションを実施する学級１００%。

目標達成状況

①月３回以上、学校図書館を利用した読書の時間を設け、児童が本を手にする機会を増やすことができた。
②学年の９０%の児童が、４０冊の読書を達成し、読書の経験を重ねることができた。
③５月に学校図書館の使い方について、オリエンテーションを実施し学校図書館を利用する際のマナーについて知ることができた。

第２学年	①学校図書館の利用の仕方とマナーを知り、きまりを守って利用する態度を高める。 ②興味・関心のある類を知り、楽しんで読書したり絵や写真、図鑑を見たりする。

今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ②図鑑や科学的な読み物等も読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	①月２回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ②読書月間やパワーアップタイムを利用し、年間一人４０冊以上の本を読む。

目標達成状況

①月に３回以上、学校図書館を利用した読書に取り組むことができ、９割の児童が年間４０冊以上の読書に励み、自分の興味のある本を探し、読書する力を伸ばすことができた。
②国語の学習を中心に、学校図書館の資料を使った探求学習を行うことで、調べたことの内容を伝えられる児童が増えた。
③年間を通した学校図書館の利用で、学年全ての児童がマナーを守って読書することができた。

第３学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ②目的に応じて、本や資料、図鑑等を見つけ、調べる能力を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
①いろいろな本に興味をもち、幅広く読書することができる。 ②本や資料を利用し、自分が１番調べたいことを調べることができる。	①月に２回以上、読書や調べる学習の授業を学校図書館で行う。 ②読書月間やパワーアップタイムを利用し、年間一人５０冊以上の本を読む。

目標達成状況

①読書月間やパワーアップタイムを中心に読書をすすめ、９割の児童が年間５０冊以上の本を読み、様々な種類の本を読むことができた。
②国語や社会、理科の時間に学校図書館を利用し、調べ学習に取り組むことができた。しかし、的確に調べることができる児童は６割程度であった。４年生になっても調べ方について継続して取り組んでいく必要がある。

第４学年	①いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を高める。 ②目的に応じて、本や資料、辞典等を見つけ、調べる能力を高める。

今年度の成果目標	達成基準
①いろいろな本に興味をもち、幅広く読書することができる。 ②本や辞典等を利用し、自分が１番調べたいことを調べ、簡単にまとめることができる。	①月に１回以上、読書や調べる学習の授業を学校図書館で行う。 ②読書月間やパワーアップタイムを利用し、年間一人５０冊以上の本を読む。

目標達成状況

①読書月間やパワーアップタイムを中心に読書をすすめ、８割の児童が年間５０冊以上の本を手に取り、様々な種類の本を読むことができた。
②平均して月１回以上、学校図書館を利用して調べ学習を行うことができた。本や辞典の利用にも慣れ、８割の児童が、的確に調べることができるようになった。

第５学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。 ②本や資料、辞典や年鑑を積極的に活用し、情報を処理できる能力を育てる。

今年度の成果目標	達成基準
①適切な本を選び、読書をして、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ②本や年鑑等を積極的に利用し、情報を処理し、目的にあった方法でまとめることができる。	①月に１回以上、読書や調べる学習の授業を学校図書館で行う。 ②読書月間やパワーアップタイムを利用し、年間一人６０冊以上の本を読む。

目標達成状況
①月に２回以上、学校図書館を活用して読書を行うことができた。８割の児童が６０冊以上の本を読み、自分の考えを広げたり、深めたりすることに役出せることができた。 ②国語や社会、総合的な学習の時間を中心に、本や年鑑を使った調べ学習に取り組み、８割の児童が目的にあった方法でまとめることができた。

第６学年	①適切な読み物を選び、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を高める。 ②本や資料、新聞や年表等を積極的に活用し、情報を処理できる能力を高める。

今年度の成果目標	達成基準
①適切な本を選び、読書をして、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ②本や新聞等を積極的に利用し、情報を処理し、目的にあった方法でまとめることができる。また、まとめた内容について自分の考えをもつことができる。	①月に１回以上、読書や調べる学習の授業を学校図書館で行う。 ②読書月間やパワーアップタイムを利用し、年間一人６０冊以上の本を読む。

目標達成状況
①パワーアップタイムを中心に読書をすすめたが、年間６０冊以上の読書に取り組む児童は半数程度だった。 ②国語や社会の時間を中心に、図書室の資料や新聞を使った調べ学習をすすめ、目的にあった方法で情報を処理し、まとめる能力が育った。

５　学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ①学校図書館支援員と図書ボランティアと協力して４月中に図書館案内図を完成させ、オリエンテーションを充実する。 ②廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成することで、蔵書の充実を図る。	①図書館案内図を４月中に刷新し、６学年中５学年で４月に図書室の利用オリエンテーションを行った。 ②夏休み前に廃棄図書を作成し、１０月までに新着図書を配架することができた。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ①学校図書館オリエンテーションの実施や読み聞かせ、給食えほん等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ②調べ学習や授業に必要な教材や資料等を積極的に支援員に相談したり、情報交換したりを行う。 ③学習内容に沿った、合った本や図鑑などを支援員に図書室の一部に用意してもらい、展示コーナーを常設する。 ④学校図書館支援員や図書ボランティア、学校図書部との連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践、推進していく。 ⑤読書月間の新しい取り組みを支援員に相談し、楽しく読書できるように考えていく。（読書 BINGO 等）	①、図書室利用のオリエンテーションや、月に２回のえほん給食を実施し、児童と物語が出会う機会を作ることができた。 ②国語、社会、理科、総合的な学習の時間を中心に、支援員と連携して資料を集め、児童に提供することができた。 ③学習の年間計画を共有し、頻繁に連絡し合うことで、展示コーナーを定期的に刷新し、児童の学習に生かすことができた。 ④特に図書ボランティアとの連携では、クリスマス読み聞かせ会を実施し、季節に合った本を、特別な空間で児童に読み聞かせし、楽しい読書の時間を設けることができた。 ⑤読書ビンゴの作成を支援員が行いそれに合わせた本棚の見出しになるよう掲示を変更した。また、第３回読書月間では、全クラスで支援員による読み聞かせやブックトークを実施することができ、新たな書籍との出会いにつながった。

【その他】 ①長期休業中の図書室の開放日を、必要な日数を設定し、実施する。 ②長期休業中は、通常以上の貸し出し数を設定する。 ③通年を通し「あだち読書通帳」や「読書カード」を使い、読書の蓄積をする。 ④「図書館を使った調べる学習コンクール」の進め方を掲示したり、必要な本や資料を用意したりする。	**①校舎改修工事のため、夏休みの開放日を設けることができなかった。** **②夏休みの貸し出し冊数を、例年より増やし、読書する機会を作ることができた。** **③通年で読書通帳を、読書月間では積極的に読書カードを活用して、児童の読書に対する意識を持たせることができた。** **④「図書館を使った調べる学習コンクール」の進め方を配布することで、東京都の選考で優秀と認められる作品を作り上げた児童がいた。**

６　学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

・年間３回の読書月間を実施し、触れ合う本の量や種類を増やすことができた。
・図書支援員や図書ボランティアと連携し、読書環境の整備、読書に関するイベントを実施し、児童に楽しく本出会える機会を設けることができた。
・書籍を活用した調べ学習については、前もって担任と支援員とが連絡を取り合うことで、さらに効果的に学習に生かせる。図書担当を中心に積極的に支援員を活用していく。
・学級によって、目標の達成状況に差があった。無理なく取り組んで達成できるよう、年間を通じての読書活動（朝読書や授業での活用）を続けていけるようにする。

７　学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

・１２月に行われた、図書ボランティアの保護者によるクリスマス読み聞かせ会は、保護者参観ができ、本と子供たちの関わり方や、新しい読み聞かせの様々な方法を知ることができてよかった。（児童保護者より）

・図書ボランティアで活動している保護者が、児童の卒業とともに活動から離れてしまうので、新一年生の保護者を中心に、新しい図書ボランティアを募る機会を設けたい。（図書ボランティアより）